

## 第34回 口腔機能って何だろう？

＝「認知症の方」の食事「困りごと」と対処法について＝

(その9)

北九州在宅医療・介護塾  
塾長 久保 哲郎

先月に引き続いて「食事で困っていること」をテーマにして、その対応策についてご紹介します。

### Q-1:食べ物を前にして食べない。

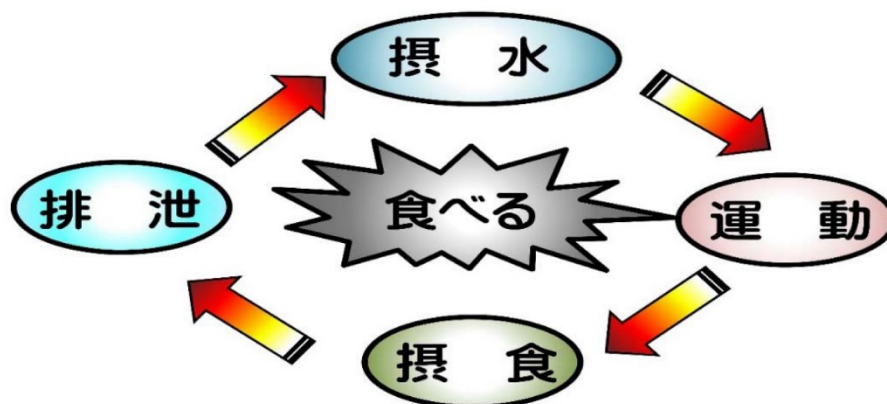
●器の色や柄と料理の区別がつかないのかもしれませんが。器の料理の色が似ていると、料理との判別ができなくなります。そして器に柄があると、器の柄と料理とが区別出来ないことがあります。また、食べ終えた後でも柄を料理と誤ってしまい、食べようとしてずっと箸でつついたりすることもあります。このような場合は、器は無地なもので、料理が映えるような色を選んでみてはどうでしょうか。

●空腹な状態になっているかどうか、分からないのかもしれませんが。認知症の方は、喉や口が渇いたり、空腹かどうか分からないことがあります。そして、時間の判断ができ

ない場合もありますので、食事の時間となっていることが理解できていないのかもしれませんが。このような場合には、先ず一口目を促して、食が進まない場合には、無理矢理に食べさせることはせずに、時間をおいて様子を見ましょう。

●便秘のために食べられないのかもしれませんが。便はきちんと出ていますか。排便の回数や状態を毎日チェックし、水分を1日1～1.5ℓを目安にとったり、食物繊維の多い食材を使用されてみてはどうでしょうか？

●覚醒できてなく眠いのかもしれません。認知症の方は、体内時計の狂いから睡眠障害を生じやすくなっています。無理に食べさせると誤嚥や窒息を引き起こすこともありますので、時間をずらして食べて戴きましょう。



「食べる」ためには、水を飲む、運動をする、食物繊維を中心にした食事を摂る、排泄をしている、ことなどが必要になります。